

AGU NEWS No. 27

青山学院大学

AGUニュース第27号
[2005年5月～6月号]
青山学院大学・広報入試センター広報課
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL.03-3409-8111 (代表)
URL: <http://www.aoyama.ac.jp/agunews/>



ベリーホール(青山キャンパス)

特集  AOYAMA
GAKUIN
UNIVERSITY

サークルでもクラブでもない、
青学ならではの人間交流の場
アドバイザー・グループの魅力

AGU TOPIC
「国際コミュニケーション学科」2006年4月開設予定

TOPICS

2005年度入学試験結果報告
会計プロフェッション研究科開設
法学研究科ビジネス法務専攻開設

報告・お知らせ

2005年度新任専任教員一覧
ヤンマー学生懸賞論文優秀賞受賞

誌上公開講座

技能コア科目
「言葉の技能」

INFORMATION

2005年度進学相談会開催日程
2005年度オープンキャンパス

「アドバイザー・グループ」の魅力

専任教員が務めるアドバイザーのもとに学部・学科、学年の枠を超えた学生が集い、心の交流を図る本学ならではの制度について、さまざまな角度からその魅力をお伝えします。まず武藤元昭学長と本郷茂学生部長（経済学部教授）に“アド・グルのすすめ”について語り合ってくださいましょう。

武藤 アド・グルの歴史は、戦後の青山学院大学発足とともに始まっています。当時は、本学も規模が小さかったため、教員と学生の交わりも日常的に深いものだったと思われるわけですが、アド・グルはそうした時代の良き伝統を伝えるかけがえのない制度といえるでしょう。当初はほとんどの教員がアドバイザーとして学生との親密な交流を図っていたようです。

本郷 現在、本学は、その当時に比べ総合大学として格段に大きな組織になりました。そのため、アド・グルの位置付けもやや見えにくくなっていくことは否定できません。しかし、学生が教員の考えや行動に触れ、幅広いコミュニケーションを図ることができるアド・グルの重要性は、むしろ高まっているのではないのでしょうか。私は、本学においてこの制度がもっと積極的に活用されてもいいと思っているのです。

武藤 同感です。本学は長らく青山、厚木、世田谷とキャンパスが3つに分かれていましたから、

教員と学生、学年や学部が異なる学生同士が顔を合わせにくい状況が続き、アド・グルの活動がやりにくかった面がありました。現在は青山と相模原の2キャンパスになって、その点は少々解消されたかもしれません。そういえば、相模原キャンパス開学と共にスタートした青山スタンダード科目「フレッシュャーズ・セミナー」は、ある意味でアド・グルの役割を果たしている面もありますね。

本郷 なるほど、そうですね。ところで学生部では、毎年、新入生全員に「アドバイザー登録のしおり」と「登録用紙」を配布しているのですが、何かもっと積極的な方法でアド・グルをアピールしていく必要があるかもしれません。新入生はもちろん、2～3年生にも、いかに学生生活の上で有意義な、そして楽しい交流の“場”であるかを、オリエンテーションなどの機会に呼びかけていってはどうでしょうか。



武藤 それは良い考えです。アド・グルの楽しみは、学生生活に限った話ではありません。卒業後もアド・グルで知り合った仲間同士が、アドバイザーの教員を囲んで同窓会を開く例も珍しくありませんから、生涯にわたる親密な人間関係が育まれる場でもあります。

本郷 ゼミや研究室でも師弟の交わりがありますが、やはり学問研究を介した付き合いとなります。教員はあくまでも教員としての立場でしか

ない。しかし、アド・グルの場合、教員はひとりの人間として学生と付き合うことになり。私はこのように教員がひとりの人間である自分の姿を学生に見せることも、重要な教育だと思っているのですが。

武藤 その通りですね。さらに言えば、教員にとっても、アド・グルで自分の所属学部以外の学生と付き合うことは、大学全体の学生に対する教育の義務を果たすという面で、非常に大切なことだと思います。

本郷 教員としてはそうですね。ただ、学生はあまり堅苦しく考えず、気軽に参加してほしいですね(笑)。

武藤 どうも近年の若者はクラブ活動など、団体行動への参加を忌避する傾向が見られますが、アド・グルに対しては「もっと気楽に参加してみれば」と私も強く言いたい(笑)。

本郷 今後アド・グル制度を活性化させていくためには、まずは教員側が積極的に取り組むことが大切です。学生のみなさんも「この先生にアドバイザーになってほしい」と思ったら、ぜひ頼んでみてください。本学専任教員なら、みなさん、喜んで引き受けてくれるでしょう。

武藤 それは間違いのないですね。今はさまざまな理由でアドバイザーを引き受けていない先生も、学生から頼まれたら嬉しいはずですから。



学生部長 本郷 茂

学長 武藤 元昭

アドバイザーとなる教員が、年度の初めにそれぞれの活動内容を提示し、学生は興味や関心のある教員を選んでアドバイザー・グループ（通称「アド・グル」）の一員となります。参加はまったくの自由ですが、毎年多くの学生が積極的に登録しています。その最大の魅力は、他学部・学科の教員と学生が活動を通して親しい関係を築けること。

テニスやスキーを楽しむスポーツ系アド・グル、研究や勉強会のアド・グル、留学や国際交流を目的としたアド・グルなどがあり、ボランティア活動やホームページ作成など、学生たちも自主的に企画・運営に参加しています。なお、今号より、巻末（今号は16ページ）で各教員のアド・グルを紹介する連載が始まりました。ぜひ、ご愛読ください。

楽しみながら英語コミュニケーション 〈米山アド・グル〉

理工学部電気電子工学科
米山 淳 助教授



私のアド・グルは、実用的な英語を身につけ、異文化交流に必要な国際感覚を養うことを目的に活動しています。英語を学ぶといっても授業ではありませんから、あくまでもカジュアルな雰囲気の中、英語でのコミュニケーションを楽しむことが活動の主眼です。たとえば、青学で学ぶ留学生との交流を図ったり、学外では都内の英語喫茶などでおしゃべりを楽しんだり外国人が集まる各種パーティーなどにも参加。

今春は新宿御苑と上野公園で、外国人主催のお花見にメンバーが参加しました。また、私自身、UCLAへの留学経験がありますので、海外留学を希望する学生はぜひ参加してほしいですね。留学相談や留学生活に関する実践的なアドバイスはいつでも行います。また、学生の希望があればTOEICやTOEFLの試験対策などにも対応できます。



市川 雅基 君（理工学部電気電子工学科4年）／私はテニスサークルに所属するほか、自らいイベントサークルを立ち上げ、さらに学科の研究、アルバイトと忙しい大学生活を送ってきましたが、先生と学問抜きで個人的な接点を持つことができるアド・グルは、学生生活において貴重な場となっています。米山先生は、話好きでとても気さくな方ですよ。
小林 曜峰 君（理工学部情報テクノロジー学科3年）／親が英語を話せるので、自分も……という気持ちで2年生から参加。毎回、英語喫茶などでネイティブの人たちが話す英語のスピードにショックを受けながらも、楽しく活



動しています。今はヒアリングも、スピーキングもまだまだなのですが、卒業までにはぜひ「使える英語」を身につけたいです。

横山 枝理 さん（文学部教育学科2年）／せっかく「英語の青山」に入学したのだから、在学中にできるだけ英語を話すチャンスを持ちたい……英会話サークルなども探したのですが、迷った末に気軽に参加できる米山アド・グルに決めました。1年生後期からなのでまだまだ参加していないのですが、アド・グルでの活動を通して外国人の親友を作ることが私の目標です。

V · O · I · C · E

「自然・人・美」を愛する人、集まれ！ 〈横山アド・グル〉

文学部教育学科
横山 徹 教授

横山アド・グルのモットーは「自然・人・美」を愛すること。活動は学生の自主的な企画・運営によって行われ、陶芸や銀粘土細工などの制作活動を中心に、夏休みにはキャンプなどアウトドア活動を楽しんでいます。陶芸に興味がなくても、自然やキャンプが好きな人であれば大歓迎。

そのうち植林体験などもやってみたいですね。また、青山祭では学生手作りの陶芸作品やアクセサリを模擬店で販売しており、毎年、好調な売れ行きです。アド・グルの魅力は、教員と学生、そして学部・学科、学年を超えた学生同士が、フランクに人間的な付き合いができることですが、横山アド・グルではOBとの強い絆も大きな特色。2001年には横山アド・グル10周年記念パーティーが開催され、記念誌も発行しました。あるOBはホームページまで作ってくれました。卒業生も含めた横山アド・グルは、ひとつの家族のようなものかもしれません。

横山 草介 君（文学部第二部教育学科4年）／青山学院大学に入学して「アド・グル」の存在を知った時、すぐに「面白そう!」と思いました。オリエンテーションで配られたアド・グルのしおりをパラパラめくって、目に留まったのが横山アド・グル。陶芸なんてまったく経験ありませんでしたが、だからこそ挑戦してみたかったのかもしれません。以来、毎週、横山先生がいる青山キャンパスの図工室に通うことが、すっかり学生生活の大きな楽しみになり、昨年はアド・グル長として、活動のまとめ役を務めました。今年は教員採用試験に向けて忙しくなりそうですが、社会人になっても横山アド・グルの「一員」として大学に遊びに来るつもりです。

藤倉 禎 君（経営学部経営学科3年）／2年生から参加した横山アド・グルで、初めて電動ろくろを使った時は感動しました。もちろん、最初はなかなか上手くできませ

ん。でも先生や先輩、そしてOBの方が熱心に教えてくれるので大丈夫。そして、OBの方が私たちが学生とフレンドリーに接してくれることも新鮮な体験でした。毎週水曜日と土曜日に図工室にメンバーが集まるのですが、必ずどなたかOBの方が顔を見せてくれます。今年度は横山先輩に代わりアド・グル長を務め、「自然に触れる機会を増やすこと」「相模原キャンパスでの活動を充実させること」を目標に頑張るつもり。まだアド・グルに所属していない青学生のみなさん、横山アド・グルはあなたの参加を待っていますよ!



2005 アドバイザー担当教員一覧

氏名	所属学部・学科	主な活動内容『アドバイザー登録のしおり』より抜粋
井口 典夫 教授	(経営学部経営学科)	まちづくりアド・グル(まちづくりの実践的活動)
井出 英人 教授	(理工学部電気電子工学科)	テニスを中心とした親睦。よく遊び、よく学ぶがモットー
井上 孝 教授	(経済学部)	下町散策やタウンウォーキング(街歩き)、食べ歩き
遠藤 光暁 教授	(経済学部)	留学生と日本人学生の交流
大久保 典子 教授	(国際政治経済学部)	スペインの魅力を探る
小張 敬之 教授	(経済学部)	アドバイザーを中心とする親睦、OB・OGとの交流、禁酒禁煙で健康面に配慮、旅行・青山祭出展など学生たちで企画、実行(10周年へ向かって活動中)
川崎 仁志 教授	(文学部教育学科)	病院でのボランティア
木村 純二 教授	(理工学部化学・生命科学科)	スポーツ観戦やピクニック
木村 光彦 教授	(国際政治経済学部国際経済学科)	本学の建学の精神であるキリスト教を基礎に聖書を読みながらのディスカッション
熊谷 彰矩 教授	(経済学部経済学科)	教師を中心とする友好と親睦
黒沼 健 助教授	(経済学部)	「わが母校、青山学院」をキーワードとしたアドバイザーとの親睦
酒井 豊 教授	(文学部教育学科)	口を動かす、頭を働かせる、体を動かす、スポーツを観戦する!とにかくやってみて何かを得る
佐久田 博司 教授	(理工学部情報テクノロジー学科)	将来の我々の生活予測を試みる。プログラミングの指導やIT知識のアドバイス
須田 昌弥 助教授	(経済学部経済学科)	「一緒に旅に出てみませんか?」鉄道を中心とした乗り物で旅する
高橋 重雄 教授	(経済学部経済学科)	仕舞(シマイ)や謡(ウタイ)を体験し、能楽堂で能を観賞する
DUFF, B.R. 専任講師	(経営学部)	ビリヤードをととした、外国人教員とのコミュニケーション
田中 正郎 教授 玉木 欽也 教授	(経営学部経営学科)	eラーニング最前線(eラーニングの素材作り、実験)
寺谷 弘壬 教授	(経営学部)	TV局見学・ディレクターやキャスターとの会談・マスコミやIT産業の先輩たちとの勉強会
西澤 宗英 教授	(法学部法学科)	民法と刑法の基礎—「これだけは知っておいて欲しい」「こういうことを知っているとの先役に立つ」ということを伝えていく
長谷川 輝紀 教授	(理工学部)	スポーツや会合を通じて気軽に話し合う
林 光一 教授	(理工学部機械創造工学科)	UNISEC(学生が主体となって学生の人工衛星を打ち上げることを目的に活動している、NPO団体)でのロケット打ち上げ活動
福岡 伸一 教授	(理工学部化学・生命科学科)	文理融合型「生命科学」アド・グル。生命科学の諸問題について議論を深める
藤川 久昭 助教授	(法学部法学科)	AOYAMA LAWサポーターくらぶ～法学部と一緒に盛り上げて青学をもっとよくしよう
降旗 千恵 教授	(理工学部化学・生命科学科)	昼食をとりながらの懇談。ライフサイエンス関係の一般書から専門書までの紹介
丸山 千秋 教授	(文学部心理学科)	障害児・者に適用する臨床動作法の研究会。肢体不自由児・者、ダウン症児などへの動作訓練
三嶋 輝夫 教授	(文学部史学科)	自然の中での交流(ハイキング・テニス合宿・野外活動など)よく遊びよく遊ぶのが好きな人を歓迎
森川 信男 教授	(経営学部)	年に数回全国各地の「お城と城下町」を中心とした名所古跡を訪ねる
横山 徹 教授	(文学部教育学科)	陶芸や野外キャンプ、各種懇親会、青山祭での模擬店の出店(焼き物、七宝焼)
吉仲 淳 専任講師	(文学部教育学科)	音採集と採集した音を交えた作曲やサウンドデザイン
吉波 弘 教授	(文学部英米文学科)	ウィルキンソン先生(本学名誉教授)のアドグルを引き継ぎ40年近い歴史を持つ週1回の昼食会やハイキング、青山祭出店など
米山 淳 助教授	(理工学部電気電子工学科)	英語(交換留学生との交流会、TOEFL・TOEICの勉強会)など
REEDY, D.W. 専任講師	(理工学部)	英語と日本語でのディスカッション、留学生や海外からのゲストとの交流、テニスや合宿
林 世景 教授	(国際政治経済学部)	レクリエーション(旅行・スポーツ・映画・食べ歩き)を通して親睦を深める



アドバイザー登録について

●アドバイザーの登録

- ・受付期間 後期は9月下旬に受け付けます(前期の受付はすでに終了しています)。 ※その期間は9月中旬に学生生活グループ・学生課掲示板でお知らせします。
- ・受付場所 相模原キャンパス 学生生活グループ(B棟1階スチューデントセンター)
青山キャンパス 学生部学生課(1号館1階)

●その他

- ・アド・グルは、1年毎の登録制度になっています。
- ・アドバイザーによっては、若干の条件や制限を設けている場合もあります。
- ・アドバイザーの選択は自由です。
- ・グループの運営上、定員制をとっている場合もあります。





2006年4月

「国際コミュニケーション学科」開設予定



国際政治経済学部長
土山 實男

国際政治経済学部では、2006年4月に、「国際コミュニケーション学科」開設を予定しています。新学科のコンセプトと特色、求める学生像などについて、国際政治経済学部長である土山實男教授にお話をうかがいました。

「国際コミュニケーション学科」設置計画

「国際コミュニケーション学科」開設は、本学部にとって長年の夢でした。従来、国際政治、国際経済両学科の学生が選択できた国際コミュニケーションコースはすでに7年の歴史がありますし、大学院にも国際コミュニケーションの専攻を設けてから10年になります。すなわちすでに政治、経済とともにコミュニケーションが、本学部の教育・研究における大きな柱のひとつなのです。

新学科の大きな特色は、社会科学を基盤として国際コミュニケーションを学際的に学びきわめてユニークな学科だということです。これまでも外国語系学部などから発展した国際コミュニケーション学の教育を行っている大学はありましたが、そのほとんどがコミュニケーションをほぼ言語に限定した教育プログラムです。しかし、現実の国際関係におけるコミュニケーションとは、単に言語だけの問題ではありません。ヒト・モノ・カネの行き来も社会における重要なコミュニケーションの要素であり、現代では情報ネットワークの問題も大きなコミュニケーション学の研究テーマです。たとえば、日米で懸案となっている米国産牛肉の輸入問題を「日米双方のコミュニケーション」という視点で考えると問題の所在がよく見えてきます。また、戦争を、外交政策におけるコミュニケーションの失敗と考えることもできます。国際コミュニケーションという視点によって、政治学、経済学といった学問の枠組みを超えた、国際問題への新しいアプローチが可能になるのです。

社会科学をベースとした学際的なカリキュラム

新学科のカリキュラムは、社会科学理論をベースとした〈コミュニケーション理論〉、通訳・翻訳、ディベートなどを含む〈コミュニケーションスキル〉、

そして、アジア、ヨーロッパ、イスラム圏をはじめ、世界の各文化圏を網羅した〈比較文化論〉の3領域の科目群で構成される予定です。

このうち〈コミュニケーション理論〉領域については、コンフリクト・レゾリューションズ(紛争解決)、パブリックリレーションズ(PR/広報)、国際交渉、国際交流、国際ネットワーク、また異文化理解、ジェンダーコミュニケーションといった新しい科目を開講する予定です。さらに毎日新聞の現役記者を講師に迎え、授業でマスメディアというコミュニケーションの最前線からの生の声を聴けることも大きな魅力となっています。そのほか、従来より本学部で実施していたインターンシップを海外でも実施したり、できるだけ多くの学科学生(できれば全員)を海外研修に参加させるなど、「現場に行く」教育を充実させたいと考えています。

なお、本学部3学科のコース制については、従来の「グローバル・ガバナンス」「国際コミュニケーション」の2コースに加え、新しく「政治外交・安全保障」「国際経済政策」「国際ビジネス」の3コースが設置される予定です。

世界を見据えた国際コミュニケーションの教育・研究を

1982年設立の国際政治経済学部自体、わが国ではパイオニア的存在です。また、学部のコースとしてグローバル・ガバナンスを取り上げたのも、本学部がわが国で初めてです。同様に新学科の教育プログラムも、日本の大学ではユニークな存在となるでしょう。しかし、国際レベルで考えると「国際コミュニケーション」を含む大学の国際教育プログラムは以前からあり、特に有名なのがワシントンD.Cにあるアメリカン大学やニューヨークのコロンビア大学などです。国際政治経済学部では、2005年8月にアメリカン大学での海外研修を予定しており、今後は同大学との教育・研究における連携なども図っていきたく考えています。こうしたグローバルな教育・研究を推進する本学部を将来わが国だけでなく東アジアにおける国際コミュニケーション教育・研究のメッカにしていきたいですね。

新学科卒業生の進路としては企業や官公庁、地方自治体等の国際部門のほか、国際機関や国際NGOなどを想定しています。そのため、国際社会で活躍できるタフな行動力を持った学生に入学してもらいたいと期待しています。



国際政治経済学部「ニューヨーク国連本部短期研修」実施

2005年3月6日(日)~12日(土)の日程で、国際政治経済学部の「ニューヨーク国連本部短期研修」が実施されました。

今回、初めてのこの研修では、学生たちが国連の主要機関や国連日本代表部での北岡伸一大使の講演やブリーフィングをもとに、各自が選んだテーマや問題について研究、発表・討論を行いました。また、本学と同時期に研修を行っていた立命館大学の学生との交流も行われました。以下に研修に参加した学生3名の感想を掲載します。

●研修中に国連総会の場に入ることができたり、一緒に参加した仲間がアナン国連事務総長と遭遇したり……まさに国際政治の最前線を実感!参加をきっかけに、国連について更に研究を深めていきたいと思いました。またこの体験を生かして、将来も国連に関わっていきたく感じました。(国際政治学科3年 菊川彩香さん)

●研修で行ったプレゼンテーションのために、国連職員の方のお話をうかがったり、国連内でしか閲覧できない資料やデータを自ら探しあてたり、苦労しましたがとても貴重な体験ができました。国際政治に対する視野が広がると同時に、英語学習に対するモチベーションも高まりました。(国際政治学科2年 山田真理絵さん)

●引率の先生をはじめ、現地のスタッフの方々のサポートもあり、ニューヨークでの研修を満喫。先輩との情報交換や立命館大学の学生とお互い刺激し合えたことは、今後、自分の専門分野を決めるにあたってのいいきっかけとなりました。最終日のマンハッタンツアーも忘れられない思い出です。(国際政治学科2年 池田美穂子さん)



2005年度入学試験結果報告

全国的な大学志願者減少傾向の中、2年ぶりに志願者4万人台に!



2005年度大学入学試験では、国公立大・私立大ともほとんどの大学で志願者が減少するなか、本学の入学試験では法学部・国際政治経済学部・理工学部にて新規に実施した大学入試センター試験利用入学試験に4,037名の志願者が集まり、一般入学試験の志願者37,066名とあわせて2年ぶりに志願者4万人を超え、昨年度比3,112名の志願者増となりました。(志願者総合計41,103名)

しかしながら、18歳人口の減少などで、全国的に私立大学入学試験の受験者数が約4%減(約3万人減)になるなか、本学でも一般入学試験の志願者数は昨年度の37,991名の志願者に対して925名減となるなど、相変わらず大学をとりまく環境は厳しい状況が続いています。それに加えて、最近の経済状況などから、受験生の自宅からの通学可能な大学を選ぶ地元志向が強まり、また、1人当たりの併願率低下から見られるように、かなり慎重に大学を選んでいることも志願者減の要因と考えられます。

そのような状況の中で、2005年度より3学部で新規に実施した大学入試

センター試験利用入学試験は、全国的にも最も多くの志願者が集まった例のひとつであり、2005年度大学入試センター試験の全体の志願者数が、約3%減(約1万7千人減)であったことを考えると、本学はおおむね健闘したものと思われまます。

本学では、2006年度より、大学入試センター試験利用入学試験を経済学部・経営学部の2学部で新規に実施するほか、国際政治経済学部では、2005年度の利用形態である4教科型に加えて3教科型の入学試験もあわせて実施します。さらに同学部では、2006年4月に「国際コミュニケーション学科」の開設を予定している他、本学として初めての「AO入学試験」を実施いたします。広報入試センターでは、これらの情報を含めた2006年度入学試験の詳細を「入学試験データ&ガイド2006」に掲載し、5月下旬より全国の受験生に頒布いたします。



2005年度入学試験結果

一般入学試験

学部・学科・コース・方式	募集人員	志願者	合格者	倍率
教育A	約75	1,943	201	9.1
教育B	約10	425	28	14.4
教育 合計	約85	2,368	229	9.8
英米文A	約190	2,327	*507	4.4
英米文B	約50	834	128	6.0
英米文 合計	約240	3,161	635	4.8
フランス文A	約75	662	*262	2.4
フランス文B	約10	69	20	3.1
フランス文 合計	約85	731	282	2.5
日本文A	約85	1,074	255	4.0
日本文B	約10	267	26	9.8
日本文 合計	約95	1,341	281	4.5
史	約80	1,009	*319	3.0
心理(昼間主)	約55	1,171	*182	6.2
心理(夜間主)	約25	260	*50	4.7
心理 合計	約80	1,431	232	5.9
合計	約665	10,041	1,978	4.8
経済A	約280	5,772	752	6.6
経済B	約80	1,084	217	4.1
経済C	約20	123	27	3.7
合計	約380	6,979	996	6.0
法学部法学科	約320	3,125	829	3.3
経営A	約320	7,188	*1,184	5.7
経営B	約30	239	88	2.4
合計	約350	7,427	1,272	5.5
国際政治A	約56	1,192	*228	4.5
国際政治B	約15	151	38	3.4
国際政治 合計	約71	1,343	266	4.4
国際経済A	約60	695	187	3.3
国際経済B	約20	215	36	5.1
国際経済 合計	約80	910	223	3.6
合計	約151	2,253	489	4.0
物理・数理	約60	828	*311	2.4
化学・生命科	約60	1,049	*318	3.0
電気電子工	約60	679	*253	2.4
機械創造工	約50	772	200	3.5
経営システム工	約50	625	180	3.2
情報テクノロジー	約50	817	*216	3.5
合計	約330	4,770	1,478	2.9
昼間部総計	約2,196	34,595	7,042	4.5
文学部 教育	約50	438	89	4.2
英米文A	約40	195	68	2.4
英米文B	約20	85	36	2.1
英米文 合計	約60	280	104	2.3
合計	約110	718	193	3.2
経済学部第二部経済	約170	1,074	330	2.8
経営学部第二部経営	約120	679	213	2.7
第二部(夜間部) 総計	約400	2,471	736	2.9
昼間部・第二部総合計	約2,596	37,066	7,778	4.3

倍率=受験者/合格者 合格者に*印がある場合、補欠を含みます。

大学入試センター試験利用入学試験

学部・学科	募集人員	志願者	合格者	倍率
法学部法学科	30	857	163	5.3
国際政治	10	262	60	4.4
国際経済	30	930	162	5.7
合計	40	1,192	222	5.4
物理・数理	5	331	80	4.1
化学・生命科	5	574	46	12.5
電気電子工	5	202	41	4.9
機械創造工	5	349	52	6.7
経営システム工	5	271	35	7.7
情報テクノロジー	5	261	35	7.5
合計	30	1,988	289	6.9
総合計	100	4,037	674	6.0

倍率=志願者/合格者

広報入試センター『進学情報コーナー』に行ってみよう!



青山キャンパスの総合研究所ビル1階 広報入試センター内に、大学への進学に関するさまざまな情報を受験生のみなさんに提供する『進学情報コーナー』が設けられています。進学に関する質問はもちろんのこと、青山学院大学のさまざまな資料を閲覧したり、大学紹介ビデオなどを鑑賞することができます。お気軽にご利用ください。開室時間は、平日9時~17時、土曜日9時~13時です(夏期休業期間等は開室日・時間が変更になることがあります)。グループ、学校単位での利用希望の場合は、予め広報入試センター広報課へお問い合わせください。お問い合わせ先 TEL.03-3409-8626

出身高校別合格者数ランキング BEST 100

順位 (昨年度順位)	高校名 (◎は私立高等学校)	合格者数	順位 (昨年度順位)	高校名 (◎は私立高等学校)	合格者数
1 (1)	◎桐蔭学園 (神奈川)	146	50 (74)	町田 (東京)	23
2 (2)	◎桐光学園 (神奈川)	71	50 (47)	浜松北 (静岡)	23
3 (5)	湘南 (神奈川)	54	54 (40)	立川 (東京)	22
4 (3)	◎山手学院 (神奈川)	50	54 (120)	戸山 (東京)	22
5 (11)	小田原 (神奈川)	49	54 (158)	武蔵 (都立) (東京)	22
6 (31)	南多摩 (東京)	48	54 (50)	◎攻玉社 (東京)	22
6 (9)	希望ヶ丘 (神奈川)	48	54 (40)	外語短期大学付属 (神奈川)	22
6 (18)	柏陽 (神奈川)	48	54 (89)	多摩 (神奈川)	22
9 (10)	厚木 (神奈川)	44	54 (31)	相模大野 (神奈川)	22
10 (74)	◎西武学園文理 (埼玉)	43	54 (22)	◎浅野 (神奈川)	22
11 (40)	国分寺 (東京)	40	54 (89)	◎森村学園高等部 (神奈川)	22
12 (4)	横浜翠嵐 (神奈川)	39	63 (278)	◎東邦大学付属東邦 (千葉)	21
12 (22)	光陵 (神奈川)	39	63 (50)	◎神奈川大学附属 (神奈川)	21
14 (203)	◎吉祥女子 (東京)	38	65 (40)	竹園 (茨城)	20
15 (13)	国立 (東京)	37	65 (40)	◎芝 (東京)	20
15 (36)	横須賀 (県立) (神奈川)	37	65 (103)	◎実践女子学園 (東京)	20
15 (16)	平塚江南 (神奈川)	37	65 (50)	◎東京女子館 (東京)	20
18 (13)	◎頌栄女子学院 (東京)	35	69 (234)	前橋 (県立) (群馬)	19
18 (8)	◎國學院大學久我山 (東京)	35	69 (47)	大宮 (埼玉)	19
18 (50)	◎桜美林 (東京)	35	69 (377)	◎富士見 (東京)	19
21 (22)	八王子東 (東京)	34	69 (50)	◎フェリス学院 (神奈川)	19
21 (6)	横浜緑ヶ丘 (神奈川)	34	73 (89)	小石川 (東京)	18
23 (22)	◎洗足学園 (神奈川)	32	73 (74)	◎成城 (東京)	18
24 (11)	◎逗子開成 (神奈川)	31	73 (158)	◎香蘭女学校 (東京)	18
25 (58)	小山台 (東京)	30	73 (109)	◎本郷 (東京)	18
25 (13)	◎鷗友学園女子 (東京)	30	73 (181)	◎明治学院東村山 (東京)	18
25 (28)	川和 (神奈川)	30	73 (22)	秦野 (神奈川)	18
28 (36)	金沢 (神奈川)	29	73 (7)	◎横浜共立学園 (神奈川)	18
29 (137)	◎専修大学松戸 (千葉)	28	73 (234)	長野 (長野)	18
29 (58)	◎成蹊 (東京)	28	81 (67)	水戸第一 (茨城)	17
29 (28)	◎鎌倉学園 (神奈川)	28	81 (234)	栃木 (栃木)	17
29 (18)	◎湘南白百合学園 (神奈川)	28	81 (67)	西 (東京)	17
33 (137)	佐倉 (千葉)	27	81 (67)	富士 (東京)	17
33 (31)	日比谷 (東京)	27	81 (31)	三鷹 (東京)	17
33 (84)	◎頼明館 (東京)	27	81 (89)	◎東洋英和女学院高等部 (東京)	17
33 (31)	鎌倉 (神奈川)	27	81 (36)	◎國學院 (東京)	17
37 (89)	◎川越東 (埼玉)	26	81 (58)	◎国際基督教大学 (東京)	17
37 (84)	◎共立女子 (東京)	26	81 (50)	横浜平沼 (神奈川)	17
37 (58)	◎桐朋女子 (東京)	26	90 (109)	◎栄東 (埼玉)	16
37 (120)	茅ヶ崎北陵 (神奈川)	26	90 (158)	木更津 (千葉)	16
41 (137)	◎茗溪学園 (茨城)	25	90 (74)	◎市川 (千葉)	16
41 (58)	◎明治学院 (東京)	25	90 (40)	国際 (東京)	16
41 (40)	◎田園調布学園高等部 (東京)	25	90 (109)	◎豊島岡女子学園 (東京)	16
41 (89)	◎鎌倉女学院 (神奈川)	25	90 (319)	◎八王子 (東京)	16
45 (74)	青山 (東京)	24	90 (18)	港南台 (神奈川)	16
45 (50)	駒場 (東京)	24	90 (203)	岐阜 (岐阜)	16
45 (67)	◎錦城 (東京)	24	98 (319)	太田 (群馬)	15
45 (27)	相模原 (県立) (神奈川)	24	98 (137)	大泉 (東京)	15
45 (109)	◎公文国際学園高等部 (神奈川)	24	98 (181)	◎桐朋 (東京)	15
50 (103)	高崎 (群馬)	23	98 (58)	生田 (神奈川)	15
50 (234)	新宿 (東京)	23	98 (36)	◎サレジオ学院 (神奈川)	15

※補欠合格を含みます。
 ※着色された校名は、昨年度より合格者が5名以上増えたことを表しています。
 ※高等学校名は2004年度のものです。
 ※同一順位内では、高等学校等コード番号順に掲載しています。

出身高校別合格率ランキング BEST 50

順位 (昨年度順位)	高校名 (◎は私立高等学校)	受験者数	合格者数	合格率 (%)
1 (—)	岐阜	21	16	76.2
2 (—)	◎吉祥女子	63	38	60.3
3 (2)	◎フェリス女学院	34	19	55.9
4 (11)	◎湘南白百合学園	52	28	53.8
5 (13)	西	32	17	53.1
6 (—)	長野	35	18	51.4
7 (15)	国立	72	37	51.4
8 (9)	外語短期大学付属	44	22	50.0
8 (25)	水戸第一	34	17	50.0
10 (23)	竹園	41	20	48.8
11 (4)	◎頌栄女子学院	72	35	48.6
12 (20)	◎鷗友学園女子	62	30	48.4
13 (18)	湘南	113	54	47.8
14 (21)	◎成蹊	61	28	45.9
15 (—)	前橋 (県立)	42	19	45.2
16 (12)	浜松北	52	23	44.2
17 (7)	国際	37	16	43.2
18 (3)	◎国際基督教大学	40	17	42.5
19 (—)	八王子東	81	34	42.0
20 (—)	◎富士見	46	19	41.3
21 (—)	高崎	56	23	41.1
22 (—)	佐倉	66	27	40.9
23 (—)	国分寺	99	40	40.4
24 (—)	新宿	57	23	40.4
25 (—)	柏陽	119	48	40.3
26 (—)	◎公文国際学園高等部	60	24	40.0
27 (14)	横浜翠嵐	99	39	39.4
28 (—)	南多摩	123	48	39.0
29 (—)	◎攻玉社	57	22	38.6
30 (—)	◎頼明館	70	27	38.6
31 (48)	小山台	78	30	38.5
32 (10)	大宮	50	19	38.0
33 (—)	◎豊島岡女子学園	43	16	37.2
34 (17)	◎國學院大學久我山	95	35	36.8
35 (33)	◎浅野	61	22	36.1
36 (—)	小田原	136	49	36.0
37 (—)	大泉	43	15	34.9
38 (—)	◎茗溪学園	72	25	34.7
38 (23)	◎田園調布学園高等部	72	25	34.7
40 (—)	厚木	127	44	34.6
41 (40)	◎鎌倉女学院	73	25	34.2
42 (34)	◎サレジオ学院	44	15	34.1
43 (37)	◎洗足学園	94	32	34.0
44 (38)	希望ヶ丘	143	48	33.6
45 (—)	栃木	51	17	33.3
46 (—)	◎実践女子学園	61	20	32.8
47 (—)	光陵	120	39	32.5
48 (—)	横須賀 (県立)	115	37	32.2
49 (26)	小石川	56	18	32.1
49 (1)	◎横浜共立学園	56	18	32.1

※補欠合格を含みます。 ※合格率=合格者/受験者
 ※昨年度50位以下の高等学校については昨年度順位を(—)と表しています。
 ※合格率は小数点第2位を四捨五入して表記しています。同率の場合は、小数点第2位で比較の上、順位付けを行っています。
 ※このランキングは、左表の100校を対象にしています。
 ※着色された校名は、昨年度より合格率が10%以上増えたことを表しています。
 ※高等学校名は2004年度のものです。

2005年度 入学式

2005年4月4日(月)、青山学院記念館において大学入学式が挙行政され、昼間部3,646名、第二部(夜間部)706名、合計4,352名の新生が入学しました。また、同日、ガウチャー記念礼拝堂において、大学院入学式が挙行政され、研究科613名が入学しました。



会計プロフェッション研究科開設

2005年4月、国際マネジメント研究科、法務研究科に続く第3の専門職大学院として会計プロフェッション研究科がスタートしました。本研究科は、キリスト教理念に基づく教育の理念と方針を実現するために、高度な職業倫理性を有し、国際人としての資質を十分に備えた会計専門職すなわち、会計プロフェッションの育成を目指しています。専門職として必要とされる知識は、簿記・財務会計・管理会計・監査そして関連する、企業法・租税法・IT・経済・経営・統計等です。本研究科では、これらの科目を幅広く体系的に配置し、公認会計士や税理士等の資格取得希望者だけでなく、企業内CFOやCAO、行政・自治体などにおける会計ナレッジ習得・リカレント教育の希望者にも幅広く対応するために、社会的要請に応えられる質の高いカリキュラムを編成。新公認会計士試験制度および「会計分野に関する専門職大学院と公認会計士試験制度との連携（短答式試験一部免除）」について配慮し、金融庁の方針に合致した教育内容を基準としています。

法学研究科ビジネス法務専攻開設

2005年4月、法学研究科は既存の私法専攻・公法専攻に加え新たにビジネス法務専攻を開設しました。本専攻は、社会人・職業人を主な対象とする夜間の大学院教育プログラムです。本専攻は「リーガル」および「経営戦略」の2つの観点を十分にふまえながら、「ビジネスロー」に関する高度専門的能力をベースに、ビジネス中堅で活躍できる職業人の育成をめざすカリキュラムを有し、特に社会的ニーズが高い「知財法務」「税法務」「人事労務法務」の3プログラムを設置しています。弁護士、弁理士、税理士、コンサルタント、シンクタンク研究員など実務家を含む教育スタッフを備えています。また、法学研究科附置機関として「ビジネスロー・センター（仮称）」を開設し、本研究科の活性化と受講生への教学支援を行う予定です。

「21世紀COEプログラム主催 第4回国際シンポジウム」

2005年3月15、16日に青山キャンパスにおいて、21世紀COEプログラム主催の第4回国際シンポジウムを開催しました。高度な機能を有する無機薄膜のコーティングに関する最先端技術にテーマを絞り込んで、ドイツ、オーストリア、オランダ、アメリカ、スウェーデン、日本から、同分野における著名な21名の方々による招待講演が行われました。機能性無機材料の薄膜合成に関する研究は、現在、様々な「ナノテクノロジー」を駆使しながら「環境技術」、「情報技術」等の基盤技術を確認するために行われているため、産業界からも大きな感心と積極的なアプローチを受けている分野です。今回は100名を超す聴講者数でしたが、外部参加者の80%以上は企業の研究所の方々でした。

ガラスやプラスチックに積層コーティングすることで高度な光学特性や熱特性を発現させることができる様々な種類のセラミック積層膜、透明でありかつ金属なみに電気を通す透明導電膜、紫外線が当たることで強い酸化還元作用を発揮する光触媒膜、太陽電池としての特性を著しく向上させる氧化物薄膜電極等の作製方法に関して様々な講演があり、いくつかのテーマに関しては激しい議論も行われました。

会場には、青山学院大学21世紀COEプログラム「エネルギー高効率化のための機能性材料の創出」の研究成果をアピールするための30件のポスター発表も、同時進行で行われました。ポスターの会場では、COEプログラムのポスドクや大学院生が本学で成し遂げられた研究成果に関して精力的に発表し、ここでも熱心な議論が繰り広げられていました。



21世紀COEプログラムでは、材料科学に関する最先端の研究を戦略的に力強く推進していますが、得られた研究成果を世界に向けて発信していくことにも強い使命感を持って取り組んでいます。これからも、国際会議や国際セミナーの開催を数多く企画しており、世界でトップレベルの研究者達との定期的な議論や、世界に向けての情報発信に全力を尽くしていこうと考えています。

(理工学部化学・生命科学科教授 重里 有三 記)

文学部日本文学科主催 国際学術シンポジウム「文字とことば—古代東アジアの文化交流—」

2005年3月12日(土)、青山キャンパスにおいて標記のシンポジウムが開催されました。古代中国を中心に形成された東アジア漢字文化圏にあって、漢語を母語としない周辺諸民族が漢字とどのように向き合い、どのように馴致していったのか、その諸相と展開を学際的に展望するというのが本シンポジウムの目的です。そのため、学外から檀國大学名誉教授南豊鉉氏(韓国語学)・広島大学名誉教授小林芳規氏(日本語学)・東京大学大学院教授佐藤信氏(日本史学)の3名と本学科教員3名—安田尚道氏(日本語学)・高田祐彦氏(中古文学)、小川靖彦氏(上代文学)—に基調報告をお願いしました。



各基調報告のタイトルは、「古代東アジアの国際環境(佐藤信氏)」「文字の交流—片仮名の起源—(小林芳規氏)」「韓日両国の古代資料に

おける文末助辞「之」について(南豊鉉氏)」「古代日本の漢字文の源流(安田尚道氏)」「万葉集の文字法(小川靖彦氏)」「かな文学の創出(高田祐彦氏)」の如くです。

来日直前の3月9日朝、南氏が心筋梗塞の発作にみまわれ、来日できなくなるという予期せぬ事態が出来ましたが(幸い南氏からは3月2日付で報告原稿を頂戴していたので、当日は司会による要旨の紹介と原稿のコピーを配布して対応しました)、各報告はそれぞれ挑発に満ちた最先端の内容で、所期の目的は十分に果たせたと自負しています。

シンポジウム会場となった1173教室には予想をはるかに超える来場者があり、一時は立ち見の出るほどの盛況で、大幅な時間超過にもかかわらず最後の討論が終了するまで熱心にノートを取りながら耳を傾けていらっしゃいました。青山学院大学に対する世間の期待・関心の高さを知るとともに、責任の重さをも改めて実感しました。

(文学部日本文学科教授 矢嶋 泉 記)

2005年度新役職員紹介



経営学部長／経営学研究科長 田中 隆雄
佐藤 靖教授は2005年3月末日をもって任期を満了し、後任には田中 隆雄教授が選任された。大学院経営学研究科長を兼務。任期は2005年4月1日より2年間。同志社大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。経営学博士。大学院経営学研究科経営学専攻主任等を歴任。



会計プロフェッション研究科長 鈴木 豊
鈴木 豊教授が専門職大学院会計プロフェッション研究科長に選任された。任期は2005年4月1日より2年間。明治大学大学院商学研究科商学専攻博士課程満期退学。博士（経営学）。公認会計士資格取得。経営学部第二部経営学科主任を歴任。

国際マネジメント研究科長 伊藤 文雄
伊藤 文雄教授は2005年3月末日をもって任期を満了し、引き続き同氏が再任された。任期は2005年4月1日より2年間。

就職部長 仁科 貞文
仁科 貞文教授は2005年3月末日をもって任期を満了し、引き続き同氏が再任された。任期は2005年4月1日より2年間。

情報科学研究センター所長 魚住 清彦
隆 雅久教授は2005年3月末日をもって任期を満了し、後任に理工学部物理・数理学科 魚住 清彦教授が選任された。任期は2005年4月1日より2年間。

保健管理センター所長 五味 慎太郎
五味 慎太郎教授は2005年3月末日をもって任期を満了し、引き続き同氏が再任された。任期は2005年4月1日より2年間。

学生相談センター所長 西澤 宗英
石井 光教授は2005年3月末日をもって任期を満了し、後任に法学部法学科 西澤 宗英教授が選任された。任期は2005年4月1日より2年間。

総合研究所長 秋元 実治
佐伯 胖教授は2005年3月末日をもって任期を満了し、後任に文学部英米文学科 秋元 実治教授が選任された。任期は2005年4月1日より2年間。

2005年度新任専任教員一覧

文学部 杉浦 絵里
体育実技助手
体育研究
(コーチ学)



法学部法学科 GIVENS,S.B.
教授
アメリカ法



経営学部経営学科 亀坂 安紀子
助教授
証券投資論



理工学部物理・数理学科 薩摩 順吉
教授
応用数理



理工学部情報テクノロジー学科 DUERST,M.J.
助教授
ソフトウェア科学



文学部 副島 秀治
体育実技助手
サッカーコーチ学



法学部法学科 菊池 純一
教授
知的財産評価
技術追跡評価



経営学部経営学科 東 伸一
専任講師
経営学



理工学部物理・数理学科 三井 敏之
助教授
表面科学
生物物理学



理工学部情報テクノロジー学科 伊藤 一成
助手
マルチメディア情報処理



文学部英米文学科 折島 正司
教授
アメリカ文学



法学部法学科 松川 実
教授
知的財産権法



経営学部経営学科 矢澤 憲一
専任講師
会計学



理工学部物理・数理学科 村中 隆弘
助手
固体物理学
(超伝導、磁性)



理工学部情報テクノロジー学科 大野 博之
助手
人工知能
日本語解析
E-Learning



文学部心理学科 稲本 絵里
助手
臨床心理学
トラウマ心理学



法学部法学科 基 豊
助教授
社会保障法



経営学部経営学科 矢内 一利
専任講師
企業評価論
経営分析論



理工学部化学・生命科学科 渡辺 貴志
助手
分子遺伝学



国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻 須田 敏子
助教授
人的資源管理



文学部心理学科 西村 洋一
助手
社会心理学



経営学部経営学科 西村 優子
教授
管理会計



国際政治経済学部 幸地 茂
専任講師
ラテンアメリカの社会と
国際関係



理工学部経営システム工学科 宋 少秋
助教授
オペレーションズリサーチ
数理科学
計算の理論



2005年4月1日付就任者の所属、氏名、身分、専門分野を掲載しています。会計プロフェッション研究科所属の新任専任教員はAGUニュース第26号に掲載しています。
※印は専門職大学院

経済学部 高橋 朋一
助教授
システム工学
計算機統計学



経営学部経営学科 鹿島 浩之
助教授
金融工学



国際政治経済学部国際経済学科 戸堂 康之
助教授
経済成長論



理工学部経営システム工学科 山路 学
助手
社会情報システム学



総合研究所 研究成果 発表状況

2005年3月末日までに研究活動を終了したプロジェクトから、以下のとおり研究成果が刊行されました。

2004年度研究成果

研究センター等	研究プロジェクト	研究成果
経済研究センター	経済統計と情報技術の新展開	報告論集
	GISを用いた大学教育支援システムの構築と実証的検討	市販本 古今書院 『事例で学ぶGISと地域分析—ArcGISを用いて—』3,000円
法学研究センター	オーストラリアの司法システムと法学教育	市販本 敬文堂 『現代オーストラリア法』2,500円
国際政治経済研究センター	インターネットによる大学院国際共同授業の研究開発	市販本 アルク 『国際言語としての英語—世界へ展開する大学院eラーニングコースの研究開発—』2,800円
理工学研究センター	大規模PCクラスター並列計算機におけるノード間通信の最適化問題	報告論集
特別研究プロジェクト	新教育方法の開発及び経営・技術戦略IT研究(AMLII)	市販本 トランスアート 『サイバーマニュファクチャリング—eラーニングで学ぶモノづくり—』3,800円
		研究叢書 第4巻 第1号～第2号

理工学部電気電子工学科 橋本 修教授が電子情報通信学会「エレクトロニクスソサエティ」より功労感謝状

2005年3月22日(火)、大阪大学で行われた「エレクトロニクスソサエティプレナリーセッション」において、理工学部電気電子工学科 橋本 修教授がエレクトロニクスソサエティより功労感謝状を授与されました。

理工学部電気電子工学科 野澤昭雄助手が電気学会優秀論文発表賞を受賞

理工学部電気電子工学科 野澤昭雄助手(井出英人研究室所属)が、2004年度電気学会優秀論文発表賞(IEEJ Excellent Presentation Award)を受賞しました。

この賞は、電気学会の計測研究会の他、約50の研究会で一年間にわたって発表された論文の中で特に優秀な論文に対して贈られるものです。対象となった論文のタイトルは「鼻部皮膚温度分布に基づく伝達情報理解度の推定法」。授賞式は、2005年8月22日(月)日本大学(駿河台キャンパス)で行われる予定です。

課外教育プログラムについて

課外教育プログラムは青山学院の教育方針を具現化し、正課では得ることのない知識や教育を体得し、そのことを通して社会の一員としてバランス感覚の整った学生を育成することを目的としています。

2005年度の課外教育プログラムの予定は以下のとおりです。奮ってご参加ください。詳細は、学生部(青山キャンパス)・学生生活グループ(相模原キャンパス)にお問い合わせください。



キャンパスウォークラリーinさがみはら ～新入生・在学生交流企画～

5月7日(水)

新入生のグループが相模原キャンパスを舞台としたウォークラリーに参加する事で、大学に慣れ親しみ、新入生同士の交流を図ります。また、歓迎レセプションを催し、新入生と在学生とが交流できる機会とします。この行事は在学生のスタッフの協力により実施されます。
場所:相模原キャンパス

旬野菜の健康家庭料理[食をテーマにした企画]

6月5日(日)

新入生・留学生・在学生を対象とし、新入生が早く学生生活になじめるよう、新入生同士だけではなく、留学生および上級生との交流ができる機会を設定します。
場所:外部施設利用 募集人数:20名程度

青山キャンパス 上級救急救命法 相模原キャンパス 上級救急救命法

6月15日(水)
・29日(水)

課外活動が本格化する前に、活動中の不慮の事故・事態に対する応急手当て・救命手当て等の他、けがや急病の際に役立つ実習を行います。
場所:青山・相模原両キャンパス 募集人数:各50名程度

水上ボランティアワークキャンプ

8月2日(火)
～5日(金)

「自然との共生」をテーマに谷川岳一の倉沢にてテントサイト作製および避難小屋整備等のボランティア活動を実施します。(前年度からの継続企画)
場所:群馬県水上町 募集人数:20名程度

手話講習会[集中講座3日間]

9月14日(水)
～16日(金)

講習会を通して、手話への理解と、聴覚障害学生への支援活動を行います。
場所:相模原キャンパス
募集人数:30名程度(希望者数により上限は考慮する予定)

※その他、通年企画として使用済み切手・テレフォンカードの回収を実施し、宗教センターを通して日本キリスト教海外医療協力会(JOCS 切手)、アジアキリスト教教育基金(ACEF テレフォンカード)へ送付しています。

2004年度 学位授与式 大学院学位授与式

2005年3月26日(土)青山学院記念館において大学学位授与式が挙行され、昼間部3,573名、第二部679名、合計4,252名の卒業生に学士の学位が授与されました。

また、同日ガウチャー記念礼拝堂において大学院学位授与式が挙行され、大学院博士前期課程および修士課程修了生303名に修士の学位、専門職学位課程修了生53名に専門職の学位、さらに博士課程修了生9名、論文博士12名に博士の学位が授与されました。



2005年度 学生表彰

2005年3月10日(木)、青山キャンパス総合研究所ビル第16会議室において、「2004年度学生表彰授与式」が行われました。この表彰は、学生が在学中に学業および学友会活動以外の多様な分野において人の範となる活躍または業績をあげ、その行為が本人および青山学院大学の荣誉となるものについて、広く内外に顕彰することを目的としています。2004年度は以下の26名が受賞しました。



2004年度学生表彰 受賞者

- 文学部社会心理学研究科(全て文学部心理学科4年)
鈴木 敦/有吉 見緒子/中村 文/有馬 智子/滝口 裕之/谷川 奈実子/中澤 真穂/益子 知己/安本 有里/渡邊 智子/小田 佳奈恵/近藤 英美/菅井 竜太/多田 静/古川 裕子/森田 大和
第56回学生広告論文電通賞「大学生グループ部門第2位」
- 経営学部学生チーム「Umbre.ad」(全て経営学部経営学科4年)
中澤 央/國富 葉子/清水 まり/芦川 亜佑美
平成15年さがみはら青年アントレプレナービジネスプランコンテスト
チャレンジ賞・特別賞(主催)相模原市
- 池田 陽介(理工学研究科理工学専攻博士前期課程1年)
電気学会東京支部「電気学術奨励賞」
(主催)(社)電気学会東京支部
- 中田時夫研究室
星野 伸之(理工学研究科電気電子工学専攻博士前期課程修了)
山田 恵一郎(理工学研究科電気電子工学専攻博士前期課程2年)
International PVSEC-14「太陽光発電国際会議」Poster Award
(主催)International PVSEC Organizing Committee
- 神山 智英(理工学研究科電気電子工学専攻博士前期課程修了)
2003年度電気情報通信学会エレクトロニクスサイエティ大会
「学術奨励賞」(主催)(社)電子情報通信学会
- 黒坂 真(理工学部物理学科4年)
神奈川県青少年育成活動推進者表彰式
「平成16年度神奈川県青少年育成活動推進者表彰」
(主催)神奈川県知事・神奈川県青少年問題協議会会長
- 猪飼 紗世(国際政治経済学部国際経営学科卒業)
第14回ヤンマー学生懸賞論文「優秀賞」(主催)ヤンマー農機(株)
※学年は2004年度現在のものです。

2004年度 国家公務員採用I種試験 公認会計士試験 司法試験 合格者数

2004年度国家公務員採用I種試験、公認会計士試験、司法試験の合格者数は以下のとおりです。難関試験を見事突破された皆様の、今後のご活躍をお祈りいたします。

- 国家公務員採用I種試験 合格者 1名
- 公認会計士試験第二次試験 合格者17名(既卒含)
- 司法試験 合格者11名(既卒含)

国際政治経済学部の2グループが 「ヤンマー学生懸賞論文」優秀賞受賞

2005年2月4日(金)、国際政治経済学部(港 徹雄ゼミナール所属)の学生2グループが「第15回ヤンマー学生懸賞論文・作文」(ヤンマー農機株式会社主催、農林水産省他後援)で優秀賞を受賞。受賞したのは、五十嵐雄太君、齋藤俊太君、平野美帆さん(国際経済学科4年)のグループによる「差別化された農作物に見出す価値感覚～最適なプライシングを目指して～」、そして後藤麻希子さん、中嶋圭さん(国際政治学科4年)のグループによる「世界と共生する日本農業」です。各グループの代表者から、受賞の喜びの声をうかがいました。



●五十嵐君「苦労したのはデータ集め。スーパーの店頭などで150人以上のアンケートを実施し、その結果分析のみを基に論文を作成しました。受賞によって、ひとつのことをやり遂げた手応えが得られました。この自信を社会でも役立たせたいと思います」



●後藤さん「約半年間、本当に多くのことを学びました。論理的思考や文章表現といった技術的なこと以上に、チームワークの大切さを学びました。想像以上の収穫がありましたので、後輩にもぜひ懸賞論文への挑戦を勧めたいですね」

文学部心理学科の学生グループが 「学生広告論文電通賞」大学生グループ部門第1位!

2005年2月17日(木)、「第57回学生広告論文電通賞」(株式会社電通主催/文部科学省後援)において、文学部心理学科「社会心理学研究会(文学部心理学科 仁科 貞文ゼミナール)」の4年生20名が、〈大学生グループ部門〉でみごと第1位となり、文部科学大臣賞・電通賞を受賞。今回の論文課題は「新しい広告を開発する」で、全国31大学から78編の応募がありました。入賞メンバーのひとりである田口恭平さんから寄せられた喜びの声を届けます。

「『新しい広告を開発する』という課題を受け、私たちは技術的な新しさではなく、発想としての新しさを心がけ「ユニバーサルデザイン広告」と言うテーマで論文作成に取り組みました。今年は20名という大所帯だったのですが、メンバー全員が責任感を持って自分の役割をしっかりと果たしたことが、成功の秘訣でした。第1位という結果はもちろん素晴らしいのですが、私がそれ以上に素晴らしいと思えたのは、この結果に至るまでの過程です。最高の仲間とひとつの目標に向かって取り組んだ経験は、現在就職活動中の私の職業観にも影響を与えました。また、論文作成にあたっては、取材者をはじめ多くの方々の協力を得ることができました。今回の結果に関しては、論文作成者としてお名前を記載できなかったそうした方々の力も大きかったと思いますし、一つひとつの出会いが私たち20名を成長させてくれたと思っています」



2004年度 体育会優秀団体・選手表彰祝賀会

2005年3月9日(水) アイビーホール青学会館において「2004年度体育会優秀団体・選手表彰祝賀会」が開催されました。祝賀会には、深町院長、武藤学長をはじめ、学生部長、体育会長ならびに体育会各部長、表彰団体監督や表彰学生、各部の代表者約190名が出席し、以下の団体・選手が表彰されました。

2004年度体育会表彰団体・選手 ※学年は2004年度現在のものです。

【最優秀団体】

バレーボール部(女子) 関東大学女子バレーボール春季リーグ戦 第23回東日本大学バレーボール選手権大会 優勝
第51回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 3位

【最優秀選手】

木村智香子(国4) バレーボール部(女子)
関東大学女子バレーボール春季リーグ戦 最優秀選手賞・猛打賞
全日本バレーボール学生選抜男女東西対抗戦2004 最優秀選手賞
アジア東部地区バレーボール選手権大会代表 優勝

【優秀団体】

居合道部 第37回東日本学生居合道大会 優勝
空手道部(女子) 第47回全国空手道選手権大会(女子形の部) 優勝
剣道部(女子) 第23回全日本女子学生剣道優勝大会 3位
バドミントン部(女子) 第55回全日本学生バドミントン選手権大会 3位

【優秀選手】

好田健太郎(営1) アメリカンフットボール部 NFL GLOBAL JR. CHAMPIONSHIP U-19代表(日本学生選抜)
小倉 悠一(史4) 居合道部 第37回東日本学生居合道大会 優勝
根本 雅史(法4) 拳法部 第17回日本拳法東日本学生個人選手権大会 準優勝
愛甲 霞(史4) 硬式庭球部(女子) 関東学生テニス選手権大会(ダブルス) 優勝
全日本学生テニス選手権大会 3位

山本 晴香(日4) 硬式庭球部(女子) 関東学生テニス選手権大会(ダブルス) 優勝
加藤 領健(済4) 硬式野球部 日米大学野球選手権大会準優勝
世界大学野球選手権大会 準優勝

山岸 穰(史4) 硬式野球部 世界大学野球選手権大会 準優勝
山口 綾乃(法3) 水泳部 第77回関東学生選手権水泳競技大会(800m自由形) 優勝
山口 有貴(済4) ソフトテニス部(女子) 第59回三笠宮賜杯全日本学生選手権大会(ダブルス) 準優勝
坪川 紗織(法4) ソフトテニス部(女子) 第59回三笠宮賜杯全日本学生選手権大会(ダブルス) 準優勝
阿部 恵(教1) 卓球部(女子) 第71回全日本学生卓球選手権大会(ダブルス) 優勝
山崎 知春(教1) 卓球部(女子) 第71回全日本学生卓球選手権大会(ダブルス) 優勝
野中 航(教4) 軟式野球部 東都大学軟式野球春季リーグ戦本塁打王・ベストナイン・全日本代表
馬術部 第39回オリンピック記念馬術大会(障害飛越) 優勝

大屋 秀作(国3) バスケ部(男子) 平成16年度U-24日本代表
(第26回ウィリアム・ジョーンズカップ国際バスケットボール大会)
田井 紀子(日4) バドミントン部(女子) 関東学生バドミントン選手権大会(ダブルス) 優勝
第54回全日本学生バドミントン選手権大会(ダブルス) 準優勝

服部 麻衣(日3) バドミントン部(女子) 関東学生バドミントン選手権大会(ダブルス) 優勝
第54回全日本学生バドミントン選手権大会(ダブルス) 準優勝

能登 裕美(済4) 陸上競技部 第83回関東学生陸上競技対抗選手権大会(女子400mH) 優勝
長谷川恒平(教2) レスリング部 全日本学生レスリング王座決定戦(フリー55kg級) 優勝
全日本大学レスリング選手権大会(グレコローマン55kg級) 3位

板倉 史也(済1) レスリング部 全日本大学レスリング選手権大会(グレコローマン66kg級) 準優勝
【敢闘団体】

サッカー部 第18回関東大学サッカー選手権大会兼総理大臣杯関東予選会 準優勝
チアリーディング部 JAPAN CUP 2004 全日本チアリーディング選手権大会規定 準優勝(総合8位)
バスケットボール部(男子) 第53回関東大学バスケットボール選手権大会 準優勝
バドミントン部(男子) 東日本学生バドミントン選手権大会 3位
陸上競技部 第83回関東学生陸上競技対抗選手権大会(女子4×400mR) 決勝3位
【敢闘選手】

中尾 敏浩(済4) 硬式野球部 東都大学野球春季リーグ戦 ベストナイン・首位打者
山内 徹也(済4) 硬式野球部 東都大学野球秋季リーグ戦 ベストナイン・首位打者
二川万里子(教2) バレーボール部(女子) 関東大学春季リーグ戦 優勝
東日本大学バレーボール選手権大会 優勝・サード賞

川上 佳奈(英1) バレーボール部(女子) 関東大学春季リーグ戦 優勝
東日本大学バレーボール選手権大会 優勝・リベロ賞

秋山 美幸(史2) バレーボール部(女子) 関東大学春季リーグ戦 優勝
東日本大学バレーボール選手権大会 優勝・セッター賞

八木澤一恵(情3) フェンシング部 第3回北岡杯争奪フェンシング選手権(女子エペ) 3位
2005ナショナルチーム選考会

佐藤 良仁(済4) 陸上競技部 第81回東京箱根間駅伝予選会 11位
関東学連選抜出場選手

池田 弘美(教3) レスリング部 ジャパンクイーンズカップ 優勝
全日本学生選手権(女子フリースタイル48kg級) 4位・最短フォール賞

【奨励賞】

峯川 侑子(教1) アイススケート部(フィギュア部門)
2004年フィギュアスケート新人戦(無級女子) 優勝

宮竹 由紀(済1) 水泳部 第80回日本選手権水泳競技大会兼第28回オリンピック競技大会代表選手選考会(女子50mバタフライ) 6位

薄井 良隆(済1) スキー部 第78回全日本学生スキー選手権(男子I部/ルディックコンビント) 優勝
嘉部恵梨奈(英1) スキー部 NHK杯ジャンプ大会、TVh杯ジャンプ大会 優勝

草野 尚美(済2) ソフトテニス部(女子) 第51回関東学生選手権大会(女子ダブルス) 3位
岩下 梓(法2) ソフトテニス部(女子) 第51回関東学生選手権大会(女子ダブルス) 3位

大槻 麻奈(史1) 卓球部(女子) 平成16年度関東学生卓球新人選手権大会(女子ダブルス) 優勝
代 瑞葉(フ1) 卓球部(女子) 平成16年度関東学生卓球新人選手権大会(女子ダブルス) 優勝

滝田 皓美(教1) 陸上競技部 第2回日本学生ジュニア陸上競技選手権大会(女子400m) 優勝(大会新)
鈴木 広明(営2) レスリング部 東日本学生レスリング遠征春季新戦(グレコローマン・フリー66kg級) 優勝(MVP)

小林 大佑(教2) レスリング部 全日本レスリング選手権大会(グレコローマン74kg級) ベスト8



2004年度においても体育会諸団体および選手の活躍があり、それを表彰していただいたことを体育会長としてありがとうございます。体育会の一層の発展を期待するという観点で、今年度は奨励賞として1・2年生の表彰がありました。今後の活躍を願ってやみません。

その一方で、すべての体育会所属学生諸君が、学業の分野でも他の学生のモデルとなるような頑張りを示してくれることを期待しています。学問を通して成長することも大事であるからです。

(2004年度体育会長 江泉 芳信 法務研究科教授)

嘉部恵梨奈さんがスキー女子ジャンプ大会で二冠!

2005年2月12日(土)、大倉山ジャンプ競技場で開催された札幌スキー連盟杯兼第16回TVh杯ジャンプ大会において、スキー部の嘉部恵梨奈さん(文学部第二部英米文学科1年)が優勝。そして翌13日(日)に行われたNHK杯女子の部も制し、堂々の二冠を達成しました。嘉部さんは長野県出身。クロスカントリースキーに熱中していた小学校6年生の時にジャンプ競技を始め、スキーと共に好きな英語を磨くため、昨年度本学に入学しました。そんな彼女に優勝の喜びと今後の抱負についてコメントをいただきました。

「今回はナショナルチームが海外遠征中の大会だったので、それでも優勝は嬉しいです、自分のメンタル面での成長を実感できたことは大きな収穫でした。夢は五輪出場。でも女子ジャンプ

はまだ五輪種目にはなっていませんので、1年でも早く認められるよう、私も技術を磨きながらアピールしていきたいです。今はジャンプすることが楽しいので、練習は苦ではありません。当面、来シーズンのレディスグランプリ(女子ジャンプ競技のW杯)出場を目指して、トレーニングに励んでいきたいと思っています」。



2005年度 地区父母懇談会のお知らせ

首都圏を除く全道府県在住の全学年の保証人を対象

青山学院大学では、大学後援会事業の一環としてご父母の皆様との連絡を密にし、ご子女に関する相談や本学に対するご意見等をうかがい、それらを大学運営に反映させる目的をもって、父母懇談会を開催しています。今年度の地区父母懇談会開催日程は下表のとおりです。対象となるご父母の方には、改めてご案内いたします。なお、下表いずれの会場にご出席いただいても結構です。さらに東日本地区の3会場では、本学公開講演会もあわせて開催する予定です。

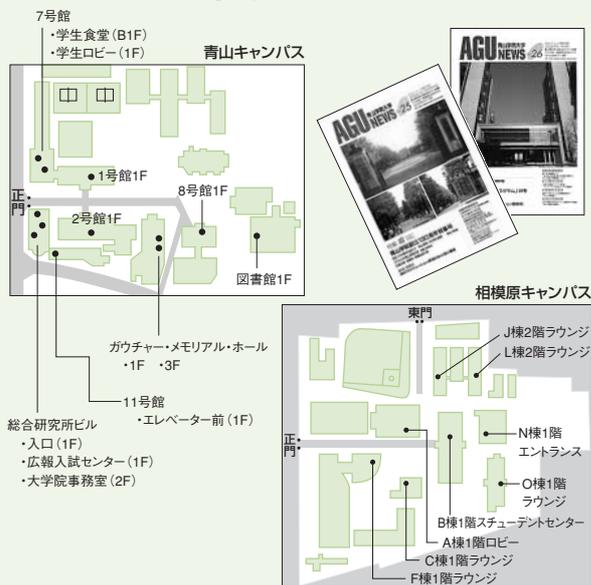
より多くのご父母の皆様の参加をお待ちしております。

対象府県	開催都市	開催日	会場
<西日本地区>			
滋賀県	京都市	8月20日(土)	ホテルグランヴィア京都
京都府	京都市	8月20日(土)	ホテルグランヴィア京都
大阪府	大阪市	8月28日(日)	リーガロイヤルホテル
兵庫県	神戸市	8月27日(土)	ホテルオークラ神戸
奈良県	奈良市	8月21日(日)	奈良ホテル
和歌山県	和歌山市	8月27日(土)	ホテルグランヴィア和歌山
鳥取県	鳥取市	9月11日(日)	ホテルニューオオタニ鳥取
島根県	松江市	9月10日(土)	松江ニューアーバンホテル別館
岡山県	岡山市	7月10日(日)	ホテルグランヴィア岡山
広島県	広島市	7月9日(土)	ホテルグランヴィア広島
山口県	小郡町	9月4日(日)	山口グランドホテル
徳島県	徳島市	7月30日(土)	ホテルクレメント徳島
香川県	高松市	8月7日(日)	全日空ホテルクレメント高松
愛媛県	松山市	8月6日(土)	ホテルサンルート松山
高知県	高知市	7月31日(日)	ホテルサンルート高知
福岡県	福岡市	9月3日(土)	ホテルニューオータニ博多
佐賀県	佐賀市	9月18日(日)	ホテルニューオータニ佐賀
長崎県	長崎市	9月19日(祝月)	ホテルニュー長崎
熊本県	熊本市	7月17日(日)	三井ガーデンホテル熊本
大分県	大分市	8月20日(土)	大分全日空ホテルオアシスタワー
宮崎県	宮崎市	8月21日(日)	宮崎観光ホテル
鹿児島県	鹿児島市	7月16日(土)	城山観光ホテル
沖縄県	那覇市	7月24日(日)	沖縄都ホテル
<東日本地区>			
宮城県	仙台市	7月16日(土)	仙台ガーデンパレス
群馬県	高崎市	11月20日(土)	高崎ビューホテル
愛知県	名古屋	11月26日(土)	ホテルキャッスルプラザ

開催時間●10:00~15:00 会場によって時間が異なる場合があります

お問い合わせ先:庶務部庶務課 父母懇談会 担当
TEL. 03-3409-8568

AGUニュース専用スタンド設置箇所案内図



前期チャペル・ウィーク

5月23日(月)~28日(土)は前期チャペル・ウィークです。チャペル・ウィークは、春と秋の年2回、各界で活躍中のクリスチャンをお招きして大学礼拝でお話をさせていただく特別伝道週間です。



この期間は普段の大学礼拝とは異なり、教会の牧師や宣教師だけでなく、一般企業の大要職にある方、社会福祉の現場で活動されている方、教育に携わっている方、音楽家の方などが、それぞれの分野での豊富で貴重な経験をもとに、ご自身のお働きとキリスト教との関わりについて語ってくださいます。聖書に示される神様の愛と慈しみを、より身近に具体的なものとして受け止めることができるでしょう。

News Index 2004.3~2004.4

2004年3月上旬~4月下旬までに大学ウェブサイト掲載されたニュースの主なタイトルを掲載しています。

05年3月

- 神奈川県産業技術総合研究所と青山学院大学(理工学部 橋本 修教授ら)などが共同で周波数測定センサを開発
- 大学院理工学研究科生 松本好太さんが「平成16年度電子情報通信学会学術奨励賞」を受賞

05年4月

- 青山学院における個人情報保護の取り組みについて
- 理工学部 井出 英人教授が「第14回日本工学教育協会賞」を受賞
- 理工学部 橋本 修教授と東芝セラミックス(株)がセラミックスの電波吸収体を開発
- 理工学部 原田 実教授が「ソコン文書の自動要約システム」を開発
- WTO研究センター主催公開セミナー「エジプトのFTA」お知らせ

Club & Circle Information

問い合わせ先 〒150-8366
青山学院大学学生部学生課
Tel 03-3409-7835

*主な文化連合会・体育連合会の活動予定。
下記大会演奏会の日程・場所は予定のものです。今後変更になる可能性もあります。

主要活動予定(2005年6月~7月)

- 青山フォークウェイズ 春期定例コンサート(6月)
- E.S.S. 大木杯スピーチコンテスト(6月)
- オラトリオ・ソサエティ合唱団 KAY合唱団定期演奏会(6月)
- ギターアンサンブル部 関東学生ギター定期演奏会(6月)
- グリーンハーモニー合唱団 トワイライトコンサート(6月)
- 箏・尺八研究会 関東学生三曲連盟定期演奏会(6月)
- 競技ダンス部 東部日本学生競技ダンス選手権大会(6月)
- ロイヤルサウンズジャズオーケストラ トライアングルコンサート(7月)
- 空手道部 関東学生春季定期リーグ戦(6月) / 関東学生空手道選手権大会(6月) / 日本空手協会全国空手道選手権大会(6月) / 全日本大学空手道選手権大会(7月)
- 剣道部 全日本学生剣道選手権大会(7月) / 全日本女子学生剣道選手権大会(7月)
- 拳法部 全国大学選抜選手権大会(6月)
- サッカー部 関東大学サッカーリーグ戦(6月) / 関東大学サッカー選手権大会(6月)
- 自動車部 全日本ダートトライアル選手権(6月)
- 射撃部 東日本学生ライフル射撃選手権大会(6月)
- 柔道部 全日本学生柔道優勝大会(6月)
- 漕艇部 全日本選手権(6月)
- ソフトテニス部 関東選手権大会(6月) / 東日本選手権大会(7月)
- 卓球部 関東学生卓球選手権大会(7月)
- チアリーディング部 関東選手権(6月)
- 軟式野球部 春季リーグ戦(6月)
- 馬術部 関東学生馬術大会(6月)
- バドミントン部 関東学生バドミントン選手権大会(6月)
- バレーボール部 東日本インカレ(7月)
- 陸上競技部 全日本大学駅伝予選会(6月) / 全日本学生陸上競技対抗選手権大会(7月)

主要活動報告(2005年2月~3月)

- 吹奏楽バトントワリング部 アンサンブルコンサート(3月) 於:ガウチャー記念礼拝堂
- 演劇研究会 春季公演(3月) 於:青山キャンパス

青山スタンダード 技能コア科目「言葉の技能」

学びの出発点となる 「言葉の技能」

「技能コア」は、諸外国の言語を学ぶ「言葉の技能」、スポーツと健康を実技と講義を通して学ぶ「身体の技能」、情報&ネットワークリテラシーを身につける「情報の技能」で構成されており、実社会で活躍するために欠かせないそれぞれのスキル向上を図る科目です。

そのうち「言葉の技能」の学習成果目標は、外国語の修得によるコミュニケーション能力、さらにプレゼンテーション能力と創作能力を高め、言葉をツールとして社会・歴史・文化を理解できるようになることです。日本語を含めて、言葉の技能を身につけることは、学びの出発点であると同時に最終目標でもあると言われています。学生のみなさんは、それぞれの専門分野における「知」の世界を広げるためにも、ぜひ、意欲的に言語学習に取り組んでいただきたいと思います。

「言葉の技能」各科目のうち、グローバル言語である英語に関しては全学的な教育プログラム「Essential English」を設置しました。これは伝統ある「英語の青山」の新しい展開ともいえる科目で、すでにe-learningを併用した授業も実施されています。

第二外国語は、6カ国語を用意しています。各言語とも基礎から応用まで、それぞれのレベルに応じた学習が行えるよう科目を配置しています。

また、言語学習と同時に、その言葉が使われている国、地域の社会や文化についての理解も深め、真の異文化コミュニケーション能力の養成を図っています。



言葉の技能

英語

English

エッセンシャルイングリッシュ
／Essential English

第二外国語 Second-guess Language

フランス語 ドイツ語
スペイン語 中国語 より1カ国語を選択
ロシア語 韓国語

英語

English

Pick up

エッセンシャルイングリッシュ

経営学部教授 Browne,C.M.

Essential English

必修の「Essential English」は実践的な英語スキル修得をめざす科目で、多彩なテーマを探究するクラスが開設されています。たとえば、中級レベルの英語力を持つ学生向けに開講されているBrowne,C.M. 助教授が担当するクラスでは、アメリカ人の意識や態度、価値観などに深く迫り、「Critical Thinking Skills」を培います。授業では、アメリカのラジオ放送や雑誌類なども使って、昨今のトピックスに関する多様な見解に接しながら、解釈や判断の仕方を学んでいきます。



本学学生が第二外国語として選択できるのはフランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語・ロシア語・韓国語の6カ国語。文学部心理学科夜間主コースと第二部を除き、1年次にこのうち1言語を4単位(週2回)を必修科目として履修します。なお、文学部フランス文学科では、英語も第二外国語として選択できます。

2004年度から、フランス語・ドイツ語・中国語の3言語において1年次生の共通テストを実施しています。これは言語別に1年間の学習目標を設定し、各教員がその目標を達成するための授業を行うことを前提に実施

されているもので、いわば青山スタンダードの理念を反映させるための試みです。2年次の第二外国語について、2006年度より週4コマ開講して、20名前後の少人数クラスで集中的に学べる「インテンシブコース(仮称)」をスタートさせる予定です。1年生の方は、どうかご期待ください。

グローバル社会を迎えている現在、外国語学習の重要性は高まっています。「青山スタンダード」科目のひとつとして、本学では、学生が興味を持って意欲的に外国語学習に取り組めるよう、今後も学習者本位の第二外国語の教育プログラムを整えていく予定です。

pick up

中国語 Chinese

経済学部教授 遠藤 光暁



文化やビジネスなどあらゆる面で、中国への関心が高まっている近年、第二外国語として中国語を選択する学生が急増しています。私たち中国語の教員スタッフ(およそ半数がネイティブ・スピーカーです)は、そうした学生たちの意欲と好奇心に応えるべく、「学習者本位」の授業をめざしていきたいと思っています。

私が担当するクラスでは、会話にウエイトを置き、生の中国語に触れ、自話トレーニングを主眼とした授業を展開。使用するテキスト(私自身が編纂したものです)には、ネイティブが吹き込んだCDと中国で現地ロケしたビデオが付属しており、自宅でのリピート練習やロールプレイ練習に活用できます。外国語学習は、スポーツの練習と同様、頭で考えるだけでなく、実際に体(主に耳と口)を動かすことが重要です。そして言うまでもなく毎日の積み重ねが上達への唯一の道です。授業時間以外にもできるだけ中国語に触れる機会を作るようにしてください。

ところで1年次の第二外国語では、通常2人の教員がそれぞれ別のテキス

トと学習計画によって週2コマの授業を進めています。私が担当するクラスでは、ペアを組むもう一人の教員と同じ教科書を使ってリレー形式で授業を進めており、学生のやる気次第で1年間で中国語会話の基礎を効率的にマスターできます。中国語の面白さを感じた方は、ぜひ、2年次以降も続けて学んでほしいと思います。そして、できれば中国、台湾にある本学の提携校への留学も視野に入れていただきたいと思います。



pick up

ロシア語 Russian 国際政治経済学部助教授 Podalko, P.



その豊かな文化によって、昔から人々を魅了してきたロシア。近年では政治・経済・科学など、あらゆる分野が関心の対象となっており、民間レベルでの日露交流も進展しています。最近まで日本ではロシア語を体系的に学習できる場は限られていましたが、本学ではロシア人教員と日本人教員の指導のもと、4年間通してロシア語を学ぶことができます。学生は私たちネイティブスピーカーから生きた言語を学べるとともに、ロシアの風土・伝統・歴史などの知識も得ることができるでしょう。授業では、学生の関心を引き起こすよう教科書以外にビデオ教材・ゲームなどを使用。単に読み書きを教えるだけでなく、学生自身が「話す」機会を豊富に設けるように心がけています。



pick up

韓国語 Korean

経営学部教授 宋 連玉



領土問題や教科書問題にもかかわらず、韓流ブームは衰えを見せません。NHKや民放でも気軽に韓国の人気ドラマが楽しめるようになりました。本学でも韓国語受講生はこの8年間で6倍に、講師の数も3人から9人に増えました。今年度からは夏休みの短期語学研修も予定されています。

韓国語ⅡのクラスはⅠを終えた学生を対象にしていますが、1週1コマ90分の授業で、テキストを中心に文法などを学びながら、時にはドラマやK-popを紹介し、K-popの歌詞を覚えて歌うテストを実施したこともあります。これは歌の苦手な人や内気な人々には不評だったために、歌詞のリスニングに切り替えました。韓国からの留学生が日本人学生との交流のために授業に参加してくれることもあります。

韓国語が日本語と構造がよく似ているといっても、外国語ですのでなめてかかると落ちこぼれますが、熱心に学んで習得し、役所の国際交流課などで通訳のお手伝いをしている先輩たちもいます。そんな学生が今後どれだけ出るか楽しみにしています。



2005年度 進学相談会開催日程

青山学院大学では、本学受験を希望する受験生に情報を提供し、本学への理解を深めていただくため、全国各地で開催される進学相談会に参加していただきます。7月までの開催日程は以下の通りです。

6/17(金)	函館	ベルクラシック函館	6/11(土)	名古屋	ナディアパーク
6/18(土)	札幌	アステイ45	6/14(火)	静岡	ツインメッセ静岡
5/31(火)	山形	ホテルメトロポリタン山形	6/15(水)	浜松	アクトシティ浜松
6/22(金)	秋田	秋田キャッスルホテル	7/18(日)	名古屋	吹上ホール
6/23(木)	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡	7/31(日)	名古屋	名古屋国際会議場
6/24(金)	青森	青森国際ホテル	6/18(土)	大阪	梅田センタービル
6/25(火)	仙台	アエル(仙台市情報産業プラザ)	7/17(日)	大阪	大阪城ホール
7/12(火)	いわき	報徳苑	7/24(日)	大阪	大阪ドーム
7/13(水)	郡山	郡山市民文化センター	5/28(土)	広島	基町クレド
7/14(木)	福島	ホテル福島グリーンパレス	6/30(月)	福山	福山ニューキャッスルホテル
7/16(土)	仙台	仙台国際センター	6/31(火)	岡山	岡山コンベンションセンター
6/7(火)	宇都宮	マロニエプラザ	6/16(木)	鳥取	ホテルモナーク鳥取
6/8(水)	水戸	水戸プラザホテル	6/17(金)	米子	米子全日空ホテル
6/10(金)	高崎	高崎サンパレス	6/18(土)	松江	くにぎやせ(島根県立産業交流会館)
5/28(土)	池袋	サンライズファイブ(池袋ポトマート)	6/9(木)	鹿児島	鹿児島商工会議所
6/3(金)	川越	川越ブリスホテル	6/10(金)	熊本	熊本市産業文化会館
6/7(火)	大宮	大宮ソックシティ	6/11(土)	福岡	西鉄ホール
6/9(木)	渋谷	渋谷エクセルホテル東急	7/2(土)	福岡	エルガーホール
6/18(土)	横浜	横浜新都ホテル(横浜そごう)	7/14(木)	那覇	おきでんふれあいホール
7/8(金)	千葉	パリエ	7/15(金)	那覇	おきでんふれあいホール
7/9(土)	新宿	新宿NSビル	7/15(金)	社会人対象相談会	
7/16(土)	九段	日本武道館	6/18(土)	新宿	新宿エルタワー
6/1(水)	甲府	ベルクラシック甲府	7/2(土)	池袋	サンシャインシティ文化会館
6/3(金)	長野	ホテルメトロポリタン長野			
6/18(土)	新潟	新潟フェイズ			

※開催日、会場等は変更になる場合がありますので、広報入試センター広報課にお問い合わせください。
※進学相談会の全日程を本学ホームページにも掲載しています。

2005年度 オープンキャンパス

■オープンキャンパス(受験生、高校1・2年生、保護者のご来場もお待ちしております)

相模原キャンパス(全学部対象)

●7月3日(日) 11:00~16:00

青山キャンパス(全学部対象)

●7月17日(日) 10:00~17:00*

●9月24日(土) 11:00~16:00*



開催内容: 歓迎礼拝/パイオルガンコンサート/大学紹介・入試概要紹介/全学共通教育システム「青山スタンダード」概要紹介/各学部学科紹介/個別進学相談/留学説明会/学生生活・就職・教職課程個別相談/大学紹介ビデオ上映/資料閲覧/教育施設自由見学等を予定しています。

(*青山学院女子短期大学同日開催)



★オープンキャンパスボランティア募集中!!

16,000名以上の来場があるオープンキャンパスにて、受付・案内などの作業をボランティアでお手伝いいただける学生(本学学生のみ)を募集しています。募集要項の配布、申し込み受付は、学生部学生課(青山キャンパス)およびチューデントセンター・学生生活グループ(相模原キャンパス)にて、6月10日(金)まで行っています。ぜひご協力ください。

■社会人のためのオープンキャンパス

青山キャンパス●7月30日(土) 14:00~17:30(受付:13:45~17:00)

内容: 社会人・職業人対象の入学試験を実施する学部学科・研究科専攻の紹介、教員・在学生との懇談等を予定しています。

※オープンキャンパスの開催内容については、5月下旬以降、本学ホームページでご確認ください。

お問い合わせ先 広報入試センター広報課 TEL. 03-3409-8626

大学紹介パンフレット申込方法

大学紹介パンフレット「進学案内2006」「入学試験データ&ガイド2006」が6月上旬に完成する予定です。大学紹介パンフレットをご希望の方は6月以降に本学ホームページ、または以下の方法にてお申し込みください。

(なお、社会人対象のパンフレットも用意しております。ご希望の方は下記まで)

●以下の番号に電話してください。

●音声ガイダンスにしたがって資料番号をダイヤルしてください。

TEL (IP電話) 050-2011-0102 *自動音声応答電話(24時間受付可能)

資料番号 大学紹介パンフレット 394000(送料共無料)

社会人対象パンフレット 394420(送料共無料)

大学紹介ビデオ・パンフレットがHPに登場!

大学紹介ビデオおよびパンフレットが下記アドレスにてご覧いただけます。(内容の一部抜粋)なお、2006年度版については6月以降にアップロード予定です。

<http://www.aoyama.ac.jp/admission/college/index.html/>

アドバイザーグループ紹介 ①

病院ボランティア <川崎アド・グル>



目標は、病院ボランティアを通して広い意味での“社会”を感じてもらうこと。現在、2ヶ所の大学病院のどちらかで毎週1回、2~3時間程度、小児病棟での患者さんのお世話、認知症病

学生時代に継続的にボランティアに取り組んだ経験は「人としての基本」をつくりまします。内科医でもある私が担当するアド・グルの活動

棟での患者さんのお世話、整形外科病棟での患者さんへのブックサービス、外来患者さんの案内などの活動を行っています。もちろん、メンバー同士の親睦も積極的に図っており、アド・グルデーの新人歓迎会や、前期試験終了直後の旅行、後期試験終了後のスキー旅行、グルメなお店の食事会などを開催。これらはまったくの自由参加で、メンバーリストであらかじめ出欠を取って企画しています。何にも縛られず自由意志で楽しむ——これが我がアド・グルのモットーなのです。



文学部教育学科 川崎 仁志 教授

AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

●なお、「AGUニュース」を確実に保証人の方へお届けするため、住所が変更になった場合は、住所変更の手続きをお取りください。

事務取扱窓口

青山キャンパス→学生部厚生課

相模原キャンパス→チューデントセンター・学生生活グループ

広報入試センター広報課 ●2005年5月20日発行